



# 金沢経済大学同窓会誌

# まな

## 第8号

1997. 10.

発行所/金沢経済大学同窓会事務局

〒920-0813 石川県金沢市御所町丑10

事務局 TEL・FAX(076)251-9876

大学 TEL(076)253-3924

発行責任者: 中田邦雄 編集発行人: 菅村洋一

同窓会会員 現在10,083名

### 「理念主導型経営」の時代



金沢経済大学同窓会 常任理事  
富山大学経済学部 教授

#### 水谷内 徹也

いまわが国企業は時代の転換点に直面している。このような状況のもとで、企業という船の舵取り役を担っている経営トップにとって、企業を安全に目的地へと誘導する羅針盤や海図が必要になる。この海図や羅針盤に相当するものが経営理念である。企業は自らの目的達成のためには、明快な論理と凝縮した表現をもつ経営理念を創造しなければならない。

経営理念という言葉は、「経営哲学」、「経営思想」、「経営信条」などとはほぼ同義に使用され、そのアプローチや研究方法も多種多様であり、いまだ明確な規定がなされていないのが実情である。しかし、経営理念を語る際に留意すべき点は、それが経営トップや創業者の強烈な個人的動機や信念を基礎として、企業内外の人びとの共感を伴って自らの事業活動を一定の目的に向けて推進する起動力・原動力としての特性をもつもので

ある。言い換えれば、経営理念は、企業経営者がその経営活動を展開する際に掲げるところとなる行動規範や行動指針、事業観、エートス(行為への実践的起動力)であると規定しうる。同時にそれは、事業展開上でのドメイン(事業領域)やミッション(使命)を示す戦略的価値から事業遂行上の成功要因や日常の行動規範などといったより具体的で限定されたものまで多様に存在している。わが国企業に一般的にみられる経営理念は、きわめてロマン的なビジョンや長期目標的なものが多い。

このような特性をもつ経営理念は、企業内統合と社会的適応という二つの機能を有する。前者は、創業者や中興の祖たる経営者のモットーや人生観などに表明された精神や教訓が企業の心として語り継がれたり、それが意思決定に具現化されて、企業内の人びとに統一的なビジョンと一体感を創出するものである。これは企業(組織)文化や企業体質、社風などと呼ばれるものに相当する。後者は、理念自体が企業外部の環境諸条件の変化に影響を受けながらも、長期的には企業自らがその社会的存在意義を外部に明示するという機能である。これには企業イメージやCI(コーポレート・アイデンティティ)、PI(プレジデント・アイデンティティ)、PFI(フレジデント・アイデンティティ)などがあげられる。ことに、近年のわが国企業の経

営理念の特徴は、人間性の尊重や社会性の重視といった二つの価値軸を掲げていることである。例えば、前者については、「働く人の物心両面のゆとり豊かさ」(A社)や「社員の個性を伸ばし充分に発揮させる」(N社)、「従業員が希望に満ちて楽しく働くことができること。従業員がその収入によって豊かな生活を営むことができること」(T社)などが表明されている。一方、後者のそれは、「良き企業市民として行動し、収益性を高め活力ある発展と社会への還元を図る」(N社)や「社会・文化活動の充実を図り、社会への貢献を更に進める」(A社)、「経営のすべての活動は企業倫理をベースに顧客のために役立つことを最大の目的とする」(F社)などが明示されている。

しかも、これらの理念を単なる精神論やタテマエ論に終わらせないためには、理念の制度化や企業内浸透を図ることが必要になる。理念の制度化・企業内浸透は、経営トップの事業観が経営戦略や管理システムなどに一貫して反映されると同時に、組織メンバー間に格差のない情報共有をもたらすからである。それはまた企業行動のあらゆる次元での戦略展開を活発化させることにも連動する。

企業における意思決定は、経営組織の上層部で行われる意思決定ほど価値的・判断の性格を帯び、下層部の意思決定ほど事理的・判断の

性格が強い。企業行動の基本的方向を決定しているのは、組織の上層部で行われる価値前提に基づく決定、すなわち戦略的意思決定であるため、不確実性の高い状況での意思決定には主観的な価値判断としての理念やビジョンが重要になる。この意味で、不透明で不確実な未来に立ち向かう企業にとって、理念やビジョンが創造されている場合とそうでない場合とでは、企業の戦略軌道の形成に決定的な影響を与える。

したがって、経営理念との関わりにおいて戦略形成の手がかりをつかみ、これに関連づけて代替案を絞っていくことが要請されることになる。ここに、「理念が戦略を生む」という命題が提起され、同時に「理念主導型戦略展開」の重要性が指摘される。

#### プロフィール

一九四八年、石川県生まれ。

一九七一年三月、金沢経済大学卒業。七六年三月、愛知学院大学大学院商学研究科博士課程修了。その後、星稜女子短期大学助教授を経て、九〇年四月より現職。

専攻は、現代経営論、経営管理論、経営管理史。

著書に、『日本企業の経営理念』、『現代企業の新展開』(編著)、『北陸の企業行動』(編著)など。



金沢経済大学

事務局長 杉本康夫

# 「生きていくことの楽しみ」



昨年四月一日付で、当金沢経済大学事務局の一員として仲間入りをしてから一年半の月日が経った。勤務は、事務局長という大役を仰せつかり、大学の運営や内容については全くの素人であったため、前任者からの引き継ぎを受けた事柄についてのみの、まことに恥ずかしい仕事ぶりであったと思う。ただ新しい職場で、新しい人間関係が出来、今まで数多くあった出会いのすばらしさをここでも味わうことが出来た。「人生は出会いの連続である」と言われるが、生きていく中で大きな楽しみの一つを与えられたことは本当にうれしかった。又、昨年十月には、新学舎が完成し、近代的な施設・設備を備えた建物に移転し、われわれ教職員はもとより、学生諸君も気分一新し、学舎の完成を喜び合った。

私は、昭和三十三年四月、大学を卒業し、河北郡内の中学校に教諭として赴任した。二十二歳だった。今もその新任式の時の様子が、はっきりと記憶に残っている。体育館が無く(建設中)、校舎の屋上で式であった。新任の挨拶は何を言ったか覚えていないが、緊張と将来への決意を胸中に秘め、身のひきしまる思っていた。約三百六十名程の中学二、三年生の、本当に可愛い瞳が、私の全身に注がれていた。「学ぶ」という受け身の境遇から、「教える」という百八十度転回した立場に立ったことの不安は確かにあったが、わくわくするような喜びと期待への感情が胸中を駆けめぐっていた。だからこそ、四十年経った今でも、その時の事をありありと想い浮かべることが出来るのだらうと思う。

そして三年後、三年生のクラスを担任することになった。二十四歳だった。この時の三年生は昭和二十年生まれであり、終戦の年の子供達で、非常に少なかった。三十六、七名のクラスが三クラスしかなく、授業やクラス経営はやりやすかった。ともかく、初めての三年生担任であり、自分の気持ちをおかしてもらったことと、生徒の気持ちがおかしく、一人ひとり可愛がり、全身全力でやろうという気持ちが強かった。生徒達にとっては迷惑なことも多々あったと思うが、卒業式の日、最後のホームルームでは、涙が出て満足に話すことも出来なかった。「二十四の瞳」ではないが「七十四の瞳」が涙をためて応えてくれたことは決して忘れられない。

と、こんな感傷ばかりに浸っておれない。あれから四十年、彼等も今は五十一歳。二年に一回、必ず三クラス合同のクラス会を開いてくれる。教師という職業の生きがいを感じる時であり、教師冥利に尽きる最高のよろこびである。最近、クラス担任を嫌う教師が多くなったと聞く。なんと嘆かわしい、残念なことであろうか。教師の任務は、教えることだけではない。心と心の触れ合いがなければ教えることは出来ないと思っ

ば教えることは出来ないと思っ

いる。何故クラス担任を嫌がるのだらう。面倒なのだらうか。余分なことはしたくないのだらうか。心の触れ合うことのすばらしさを経験したことが無いのだらうか。「いじめ」だの「登校拒否」などが問題にされるのは、ここにもその要因があるのではないだらうか。学校も、家庭も、社会も、全体が真剣に動き出す必要があると思う。報道機関や、さまざまな講演会等でも声を大にして言われていくことだが、なかなか大きなうねりとなって動き出す気配がない。残念なことである。

先に述べたが、昭和三十三年に教職について三十八年間、長いよ

うで、終わってみれば一夜の夢の如く短かった。心に残ることも多く、書き出せば枚挙にいとまがないくらいであるが、特に、平成三年十月、石川県で開催された第四十八回国体「石川県体」での想い出が強い。当時、県教育委員会体

育課長で、県体育協会理事長を兼任していたため、石川県選手団総監督を引き受けることとなり、生涯二度とない名誉なことであった。しかし、反面、精神的にも肉体的にも非常に厳しい毎日で、今考えると、よく身体が持ちこたえたものだと思う。意欲と忍耐、行動力と判断力が絶えず要求される日々ではあったが、そのため、総合優勝した喜びとあの時の感動は、言葉で言いあらわすことの出

来ないものだった。

書家の相田みつを氏の言葉に「一生感動、一生青春」というのがあるが、小さな感動でもいいから、何か毎日感動することが、心を湧きたたせ、若い気持ちを持ち続けさせてくれるのではないだらうか。顔に皺が出来ても、心に皺はつくりたくない。いつまでも情熱と意欲を失うことなく、楽しい人生を過したいものである。



# 『きずな』深まる同窓会 「発足25周年記念パーティー」開催される 450名余の参加者で会場あふれる



雨で始まった平成八年十一月十六日（土）、それでも午後には曇り空から日差しも覗く不安定な空模様の中、ここ金沢東急ホテルの五階では同窓会発足二十五周年記念パーティーの準備が着々と進められていた。午後六時の開宴に向けて本日の参加者がぞくぞくと詰め掛けはじめ、受付の混雑が参加者数を想像させました。

会場への着席に少々手間取って定刻を少し過ぎて、ご来賓二十四名の方々が拍手で入場着席、記念の式典が始まり、同窓会会長中田邦雄の挨拶のあと、稱置学園理事長稲置美弥子様、金沢経済大学学長山村勝郎様の祝辞があり、金沢経済大学経済学部長馬場英夫様の乾杯の音頭でパーティーが始まりました。



開宴に合わせて、在学生で組織された「ウインドシンフォニックオーケストラ」の演奏があり、円卓テーブルでは、久方ぶりでの再会に互いの名刺を交換したり旧交を暖める姿が酌み交わすアルコールの量とともに深まっているようでした。会場の盛り上がりとともに、活躍する同窓生と題しての参加者自慢が始まり、学生時代を懐かしむ声ステージに響きました。

金沢経済大学同窓会発足25周年記念パーティー



好研一の閉会の挨拶で無事、同窓会発足二十五周年記念パーティーはお開きとなりました。次回が何周年記念になるかは定かではありませんが、その折には必ず逢うことを約束して散会となったものと思います。



終宴にむけて、お楽しみ抽選会が催され、参加者はパーティー券のナンバーに目を凝らします。クリスマスディナーチケットがベア十八組、温泉旅館宿泊券がベア五組、そして、ホテルの利用券が十組と、参加者数にしては少なめながら、それだけ価値あるプレゼントを射止めて喜ぶ当選者に惜しめない拍手が沸き起こりました。

金沢経済大学事務局長杉本康夫様の万歳三唱、同窓会副会長の三



## 常任理事会 & 学長・事務局長を囲んで

同窓会常任理事会では、大学の近況と将来の展望についてを同窓生の立場で理解し、同窓会との連携を模索することを目的とした「学長並びに事務局長」との意見交換会を開催しました。

平成九年十一月二十二日(土)、あいにくの雨模様の日、金沢スカイホテルに山村勝郎学長、杉本康夫事務局長をお招きし、十三名の常任理事の出席のもと会は開かれました。



大学の将来に関して、山村学長より、少子化・高齢化の社会の到来による私立各大学間の学生獲得競争が激化すること、規制緩和による大学のビッグバンがあり得ることが最初に上げられ、それを踏まえての稲置学園としての方向性や、取り組むべき課題についてのご意見をいただきました。

大学独自の自主努力を期待することは当然ながら、地域社会の発展を促す分野を視野に入れた新しい学科の創設や、社会人のリカレント教育の設置などに今後の大学としての方向づけがあるこ

と。さらには、環日本海交流を進める立場から、国際的な視野に立つての学術交流の必要性が述べられました。

続いて、杉本事務局長より、従来からの各高校へのアプローチを更に強化し、金沢経済大学のPRにとどまらず、新学舎における特徴あるカリキュラムをバックアップする諸設備への理解を求め、同窓生の活躍を積極的に広報していることが報告されました。

それについては、同窓会の強力な支援体制が必要であり、多くの同窓生が各地域で活躍をしていることを踏まえて、地区単位に支部活動を展開して欲しいとの要望が出されました。

約二時間という短い時間の意見交換ではありましたが、この冬に竣工する新学舎に、多くの有望な学生希望者が集うことを願っての熱意ある新しい大学像を目指す姿勢に、同窓会としても今まで以上のバックアップの必要性を痛感することとなりました。

常任理事会では、今後の課題として在学生との交換会や全国各地で活躍する卒業生の地区単位での

支部活動を推進し、同窓会活動のみならず、金沢経済大学のPR活動の支援、大学外での各教授の講演会への賛助を目指した活動の提案が必要との見解をまとめることとなりました。

高度情報化社会にあって、これからの大学は、学舎内に止まらずの研究活動やカリキュラムでは済

まされません。国際的な交流、国内での地域を越えた交流がその大学の評価となってきます。その評価をより高めるには、同窓生諸君の連帯感、連携が不可欠なのです。交換会を終えて、これからも定期的な意見の交換や情報交換の場が大切であるとの認識で散会となりました。





平成十年七月十八日(土)午後六時、金沢スカイホテルにおいて、平成十年度同窓会理事会が開催された。昨年度の同窓会会則の一部改正により、理事会を毎年一回開催することに改められての初めての会合として開催。

常任理事を含め四十一名の参加を得、清水実総務委員長の開会のことばに続き、中田邦雄会長の挨拶を経て、会則に基づき中田会長が議長となり議題の審議に入った。

一、支部結成について  
清水総務委員長より、関東・関西・東海・富山・加賀の五地区の支部結成に向けた活動を開始することが提案され承認を受けた。

一、役員選出について  
清水総務委員長より「平成十年度金沢経済大学同窓会役員名簿」に基づいて説明があり、承認されました。

一、平成九年度決算報告及び平成十年度予算(案)について  
田中洋之企画委員(会計)より、「平成九年度金沢経済大学同窓会決算書」に基づいて報告がなされ、続いて森寿監事より監査報告がなされた。引き続き、「平成十年度金沢経済大学同窓会予算(案)」が提

案され、満場一致で承認された。一、その他について

中田議長より、再度同窓会の支部結成を積極的に推進し、会活動の活発化を図りたいことへの理解を求める発言があり、平成十年度理事会を終了しました。

理事会終了後、午後八時半より、本田学園本部長、山村学長、沢田経済学部長、白川部教務部長、山田学生部長、藤岡図書館長、鉾野人間科学研究所長をご来賓としてお

## 平成十年度 理事会・懇親会開催される



迎えし懇親会が開かれました。

清水総務委員長の開会のことばに続き、中田会長の挨拶、山村学長のご挨拶をいただきました。

学園の新しい構想には、同窓生の多大なご支援が欠かせないこと、特に産業界で活躍される多数の同窓生の金沢経済大学への思いが、在校生にとっての最大の支援であることを強調され乾杯のご発声をお願いしました。

懇親会会場は、新旧の理事が、



同窓会について、また、自分の所属する職場についての話と華が咲き、時の過ぎるのを忘れて語りました。

最後に、沢田経済学部長の近況報告をいただき、本田学園本部長の同窓会の発展、理事各位の健康とご活躍、更には、金沢経済大学のますますの発展を誓っての万歳三唱の音頭で午後八時半、閉会となりました。



中田 タイミングと云いますと、

山村 云えますね、地方の中小企業のレベルアップが大学卒業程度までの知識を持ったものを人材として必要とし始めていたことになりました。特に地方都市の経済構造が変化してきて。

中田 としますと、この金沢経済大学の創立というのは時代のタイミングにピッタリだったと云えますね。

からは、中小企業が技術力のアップで独自の製品開発に着手しはじめ、それだけレベルを上げて中小企業自身が大きくなりだしてきたことが、そうした人材の面での大卒者採用の枠を広げていったものと云えるでしょう。もう一つは、私の環日本海学術交流会議の交流を通じて考えてみますと、ちょうど北陸地方の場合は、対岸に良い市場があることから、独自の製品での市場開拓が活発化してきた時期で第一次日本海時代に重なって来ていると思います。

中田 学生も、経済学や現実の経済の分野で行き詰まりを感じてい

るのかどうか問われてきていますので、どうしても人気落ちてきてしまうのかもしれないね。

山村 そうですね、いま一つの問題は、経済学の分野に対する高校生の人気が下降して、パブルの前の時代ですと、まだ経済学を学ぶことができると考えて進学してきたのですが、今はむしろ環境問題や資源をどうするか、高齢化社会の福祉はどうするかというところが問題になり、経済の行き詰まりが表面化してきた時代では、企業の地域との関わりや都市のあり方の方に目が向けられてきていて、企業がこれまでの経済学の論理だけでは運営できなくなってきたと云う、マクロやミクロ経済の理論だけを学んでも、現実に対応し

中田 しかし、今後の問題として、定員増は難しいでしょうし、少子化時代に向けた定員確保の問題なども大学運営として議論されるところではないかと思いますが、今後の採算性としてはどのようにお考えですか。

山村 経済的に云えば、これをパブルの時代にやっていたら大変だったでしょうね。利子は高いし、様々な材料等も今からは比較できない程の出費があったのではないのでしょうか。

この度の新学舎の建設と云うのも遅かったかなとは云え、時代にうまくあっているように思われますが。

中田 学生も、経済学や現実の経済の分野で行き詰まりを感じてい

るのかどうか問われてきていますので、どうしても人気落ちてきてしまうのかもしれないね。

山村 そうですね、いま一つの問題は、経済学の分野に対する高校生の人気が下降して、パブルの前の時代ですと、まだ経済学を学ぶことができると考えて進学してきたのですが、今はむしろ環境問題や資源をどうするか、高齢化社会の福祉はどうするかというところが問題になり、経済の行き詰まりが表面化してきた時代では、企業の地域との関わりや都市のあり方の方に目が向けられてきていて、企業がこれまでの経済学の論理だけでは運営できなくなってきたと云う、マクロやミクロ経済の理論だけを学んでも、現実に対応し

中田 しかし、今後の問題として、定員増は難しいでしょうし、少子化時代に向けた定員確保の問題なども大学運営として議論されるところではないかと思いますが、今後の採算性としてはどのようにお考えですか。

山村 現実問題として、大学間での競争はもう始まっていますし、18歳人口の減少傾向は現実のものですね。従いまして、大学としてのハード、建物を含めた諸施設の整備拡充が求められますし、ソフト、教育内容やカリキュラムの工夫が問われてくるものと思います。本学では、施設面はご覧の通り新しいキャンパスの完成を見るわけですから、ソフト面でも如何に差別化をはかり、魅力あるものにするかが極めて重要なポイントになります。その点では、これまでの経済学の範疇に固執することなく、現実の社会のニーズにマッチしたカリキュラムの編成や今後、社会に求められる教育プログラムに早急に取り組んで、地域社会に必要とされる人材の育成に務めることになりそうですから、充分に対応しうる能力のある大学であると云えます。

て、理論と現実との差をひしひしと実感し始めていて、経済学を学ぶような社会環境ではないと思いついて、と云う事になります。これは大変な問題を抱え込むことになるかもしれません。

中田 なるほど、大学院ですか、夜間の大学院というのも大切ですね。

山村 学園としては、星稜女子短大の存在がある意味で問題がありまして、最近の傾向からみますとどうしても短大への進学希望者の減少傾向が目立っています。で、短大そのもののリストラと云うと、そう簡単な訳にはいかなくて、その一部を四大に移すという方向で、学園の理事会では検討されているようです。

中田 それとは別に、新学部の新設、設置があるのではと云うお話をお聞きしているのですが。

山村 話としてはありましたが、実はこのキャンパス構想を進めていた時点では具体化されていませんでしたので、現状維持と云うことで、新築をしてみようというところ、物理的に学部の新設は無理です。何しろ、一学部増設となりますと、講師陣だけでも20人程度の増員が必要になり、新たなスペースを確保する必要にせまられますので、現状では考えられないのです。とは云え、先ほどの話の中にもありました、現代にマッチする学科を考えて行かなければ、他の大学との差別化が図れませんので、これからの社会のニーズに

玉になるものと思っています。就学に対する要望は、少子化に反して、機会あることに学ぼうとする人口は今後もますます増えるものと考えられます。大学の目指すところを着実に推進すれば、本学の必要性は地域社会に充分根ざして行き、地域社会の発展に貢献出来るものと思えますよ。

玉になるものと思っています。就学に対する要望は、少子化に反して、機会あることに学ぼうとする人口は今後もますます増えるものと考えられます。大学の目指すところを着実に推進すれば、本学の必要性は地域社会に充分根ざして行き、地域社会の発展に貢献出来るものと思えますよ。

中田 同窓生といたしましては、大学の名称が変わらない方が有難いですね。例えて悪いのですが、本学園の実践商業が星稜高校と名称を変更した事で、同窓会がその

山村 経済学科の人気の高まることながら、商学科の現状で、できれば商学科でない学科を視野に入れて検討をすすめることにしています。ただ、その名称によっては、文部省から大学の名称を変更しなさいと云うことの恐れがありますので、慎重に進めないといけないと思っています。金沢経済大学という名称を変更しない方が良いと思えますし、金沢にある大学のネットワークの上でも、本学の位置付けが定着していますので、この所をしっかりと把握して、学科の新設を進めようと考えている所です。

中田 と、云いますと。

山村 経済学科の人気の高まることながら、商学科の現状で、できれば商学科でない学科を視野に入れて検討をすすめることにしています。ただ、その名称によっては、文部省から大学の名称を変更しなさいと云うことの恐れがありますので、慎重に進めないといけないと思っています。金沢経済大学という名称を変更しない方が良いと思えますし、金沢にある大学のネットワークの上でも、本学の位置付けが定着していますので、この所をしっかりと把握して、学科の新設を進めようと考えている所です。

中田 と、云いますと。

山村 経済学科の人気の高まることながら、商学科の現状で、できれば商学科でない学科を視野に入れて検討をすすめることにしています。ただ、その名称によっては、文部省から大学の名称を変更しなさいと云うことの恐れがありますので、慎重に進めないといけないと思っています。金沢経済大学という名称を変更しない方が良いと思えますし、金沢にある大学のネットワークの上でも、本学の位置付けが定着していますので、この所をしっかりと把握して、学科の新設を進めようと考えている所です。



運営に困惑をしていると云う話を聞き及んでいますので、金沢経済大学として存続し続けてほしいと思います。

山村 昭和40年代に全国の地方都市に経済大学という名称の単科大学が設立されまして、北から南までその存在を誇っていますし、何よりも何を教え学ぶ大学であるかが明確に名称に表されていることがこの大学としては大切ですね。なおかつ、30年の歴史を既に持っている、地域での信頼感があり、存在意義が認められ、地域に定着している事が極めて大切なことですので変えないほうが良いと思います。ただ、今後の情勢から見て、経済学に対する社会のニーズに大きな変化があることになれば考慮せざるを得なくなることもあるかもしれません。

中田 大学としての将来構想として、学科の新設に関する方向性についてはどのようなものが考えられるでしょうか。

山村 そうですね、最近特に注目されているのは、地域間の経済交流をテーマとした分野だと思えます。それも、地方都市間と云うのでは無く、国境をはずした国際的な視野での地方都市間と云う観点から、私が進めている環日本海や東南アジアの地域での学術交流がさかんになってきています。今後はますますその必要性が高まってくるでしょうし、そういった専門分野が展開されるものと思われれます。この点に着目して、大学院等でもそういった学科に注目する必要がある、時代に即した分野として研究される事になるでしょう。そういう風に考えれば、金沢

経済大学で教えられる幅はまだまだ広がられますし、何よりも、そうした気風が、現在100000人へのぼる同窓生を持つ、30年の歴史ある大学であることの実績と地域に根ざした先輩の方々の存在が実に大きいものと思います。

中田 長時間ありがとうございます。開学30周年を機に、新学舎も完成しますし、ソフトの面もまだまだ可能性を秘めているお話を伺いまして何よりと安心をすると同時に今後のご活躍を一層楽しみにさせていただきます。

【対談を終えて】

同窓会会長 中田 邦雄

金沢経済大学開学30周年という記念すべき年を迎え、同窓会の会員が100000人を越え、日々隆盛をたどっていることを大変喜ばしく力強く思います。

さて、開学30周年を記念して学長先生と対談して、大学のために「全力投球」している姿勢に意を強くしました。

学長に就任されてから新学舎の建設に情熱を傾けられ、新キャンパスの完成を見ました。生きた情報教育が受けられるLAN(構内情報通信網)の充実ぶりには目を見張ります。「知は力」、「知は情報」です。

立派な学舎(ハード)が完成し、カリキュラム(教育内容)の改善、そして教員(スタッフ)の充実に力を入れることをお聞きして、教育と研究、そしてサービス(社会貢献)の充実した大学への着実な歩みを確信し、学長先生のたいなる決意と熱意を感じました。最後に、同窓会への期待をお聞きし、心新たにしております。

平成8年度同窓会決算書

平成8年4月1日～平成9年3月31日

| 収入    |            | 支出     |            |
|-------|------------|--------|------------|
| 科目    | 金額         | 科目     | 金額         |
| 前期繰越金 | 7,240,304  | 事業費    | 2,955,068  |
| 終身会費  | 5,030,000  | 人件費    | 570,000    |
| 受取利息  | 253,729    | 通信費    | 1,148,607  |
| 雑収入   | 288,657    | 消耗品費   | 112,094    |
|       |            | 在校生補助  | 650,000    |
|       |            | 慶弔費    | 265,000    |
|       |            | 理事会運営費 | 653,475    |
|       |            | 總會運営費  | 2,199,968  |
|       |            | 広報費    | 451,700    |
|       |            | 同窓会館積立 | 242,448    |
|       |            | 雑費     | 0          |
|       |            | 次期繰越高  | 3,564,330  |
| 合計    | 12,812,690 | 合計     | 12,812,690 |

【特別会計 同窓会館積立金】.....26,008,223円

同窓会会長年間職務日誌

| 月日      | 行事名                  | 場所          |
|---------|----------------------|-------------|
| H8.4/6  | 金沢経済大学入学式            | 稲置記念館講堂     |
| 4/14    | 馳浩(星様OB)参議院議員出版パーティー | 金沢全日空ホテル    |
| 5/20    | 稲置学園評議員会             | 金沢経済大学会議室   |
| 5/31    | 同窓会常任理事会             | ホリデイ・イン金沢   |
| 6/15    | 同窓会理事会               | 金沢スカイホテル    |
| 7/9     | 稲置繁男先生顕彰事業準備会        | 金沢経済大学会議室   |
| 7/19    | 発足25周年記念パーティー実行委員会   | 金沢東急ホテル     |
| 7/29    | 稲置繁男先生顕彰事業準備会        | 金沢経済大学会議室   |
| 8/23    | 稲置繁男先生顕彰事業準備会        | 金沢シティモントホテル |
| 8/31    | 同窓会常任理事会             | 金沢スカイホテル    |
| 9/14    | 理事会・発足25周年記念パーティー実行委 | ホリデイ・イン金沢   |
| 9/27    | 発足25周年記念誌 座談会        | 金沢スカイホテル    |
| 10/5    | 稲置繁男先生顕彰事業実行委員会      | メルパルク金沢     |
| 10/14   | 金沢経済大学新学舎竣工式         | 新学舎1階エントランス |
| 10/17   | 稲置繁男先生顕彰事業実行委員会      | 金沢シティモントホテル |
| 10/22   | 理事長・学長・本部長・事務局長訪問    | 大学          |
| 10/26   | 同窓会常任理事会             | ホリデイ・イン金沢   |
| 11/16   | 発足25周年記念パーティー        | 金沢東急ホテル     |
| H9.2/15 | 稲置学園同窓会(大学・短大・高校)    | 金沢スカイホテル    |
| 2/25    | 稲置繁男先生顕彰事業実行委員会      | 金沢シティモントホテル |
| 3/7     | 稲置学園評議員会             | 学園本部2階会議室   |
| 3/8     | 金経大Ⅱ部卒業記念パーティー       | 金沢全日空ホテル    |
| 3/14    | 金沢経済大学卒業式            | 稲置記念館講堂     |
|         | 金経大卒業記念パーティー         | 金沢全日空ホテル    |

# 稲置学園合同同窓会 第1回コンペ結果報告



# 金沢経済大学OBゴルフ同好会 第9回コンペ結果報告

平成9年7月23日(水)開催  
金沢カントリー倶楽部(宇ノ気)

| RANK | NAME     | OUT | IN | GROSS | H. CP | NET  |
|------|----------|-----|----|-------|-------|------|
| 優勝   | 藤橋由晴(実星) | 43  | 42 | 85    | 14.4  | 70.6 |
| 2    | 松田誠治(実星) | 45  | 40 | 85    | 14.4  | 70.6 |
| 3    | 山下哲男(実星) | 37  | 38 | 75    | 2.4   | 72.6 |

平成9年5月25日(日)開催  
白山カントリークラブ(泉水コース)

| RANK | NAME  | OUT | IN | GROSS | H. CP | NET |
|------|-------|-----|----|-------|-------|-----|
| 優勝   | 芝田 義則 | 43  | 37 | 80    | 12    | 68  |
| 2    | 清水 実  | 52  | 47 | 99    | 28    | 71  |
| 3    | 山田 清  | 51  | 58 | 109   | 36    | 73  |

## 同窓会事務局だより

### ◆加賀支部設立準備始まる◆

昨年の同窓会発足25周年記念パーティーを機に、加賀出身のOBが互いに声を掛け合っ、加賀に同窓会の支部設立の気運が盛り上がりました。同窓会常任理事会では、積極的な交流促進と歓迎をしております。

支部としての活動を推進するには、同窓会会則の第六章に準ずる必要があります。現在支部員の募集登録を進めている所です。所定人員を確保すると同時に、地区としての会員同士の活発な交流を実現しようとして、只今、地元OBの参加の意思表示を受け付けています。お互い連絡を取り合っ、是非加賀に同窓会の支部を設立しませんか。

詳細は、同窓会事務局にご連絡ください。

同じ地区の仲間同士で交流を深めることが、同窓会活動をよりいっそう活発にさせることです。実現にむけて、地区単位、職場単位で支部が設立されることを応援します。

## 編集後記

行政改革の大合唱で世の中が騒然とし、目を向けている間に消費税率のアップがじわりと日常生活に重くのしかかる。景気の後退、経済の失速状況は、日銀や経済企画庁の緩やかな回復宣言とは裏腹に、確実に進行し、抜本的な打開策のないまま現実化してきているようだ。

しかし、同窓生諸氏にとっては、いまま脈々と生きる金沢経済大学の卒業生として、学び取った多くのことを生かす必要性が、今後ますます高くなってくるように思われます。

大学開学30周年、新学舎を含む新キャンパスの竣工を間近に控え、金沢経済大学はこれまでのカラーを塗り替えてつあるようです。それが、大学運営に向けての知恵と努力の結晶であり、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を目指す学園の総意として結実されることを、同窓会として見守りたいと思います。

きずな第8号をお届けします。ご一読のうえ、ご意見をいただければまことに幸いです。

## 金沢経済大学同窓会会則の一部を改正する新旧対照

平成九年六月二十八日(土)、金沢東急ホテルにて開催された理事会・総会において、会則の一部改正が承認されました。

| 改正  | 現行   |
|---|--|
| 第三章 役員<br>第十二条 本会には顧問及び相談役を置くことができる。  | 第三章 役員<br>第十一条 本会には顧問を置くことができる。  |
| 第四章 会議<br>第十二条 本会には毎年一回理事会を開き次の事項を報告及び付議する。総会には必要に応じて開く。  | 第四章 会議<br>第十二条 本会には総会を開き次の事項を報告及び付議する。   |
| 第十三条 理事会は会長、又は理事の三分の一以上の要求により之を開く。  | 第十三条 理事会は会長、又は理事の三分の一以上の要求により之を開く。臨時総会は必要に応じて開く。                                   |
| 第十四条 理事会の決議は出席者の過半数の同意を要し可決同数の場合は、議長が決する。   | 第十四条 総会及び理事会の決議は出席者の過半数の同意をもって有効とする。   |
| 第五章 会計<br>第十五条 本会の会費は、入会金、会費、寄付金及びその他の収入をもってまかなう。   | 第五章 会計<br>第十五条 本会の会費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってまかなう。                                      |
| 第十六条 正会員は入会金として一〇,〇〇〇円を納入するものとする。   | 第十六条 正会員は総身会費として一〇,〇〇〇円を納入するものとする。   |
| 付則<br>一、本会則は昭和四十六年四月一日から施行する。<br>昭和六十一年三月一日一部改正。<br>平成元年四月一日一部改正。<br>平成五年三月一日一部改正。<br>平成十年三月一日一部改正。 | 付則<br>一、本会則は昭和四十六年四月一日から施行する。<br>昭和六十一年三月一日一部改正。<br>平成元年四月一日一部改正。<br>平成五年三月一日一部改正。 |